



日本労働組合総連合会
山梨県連合会 (略称 連合山梨)

No.342 2019.12.12

私たちが未来を変える
～安心社会に向けて～

れんごう

YAMANASHI

12
3
TUE

連合第81回中央委員会を開催/2020春闘方針を確認

連合は12月3日(火)に第81回中央委員会を開催し、2020年度春季生活闘争方針を決定しました。

1. 2020春季生活闘争の基本方針

賃金要求に対する考え方

家計の状況を見ると、社会保険料負担の上昇が賃上げによる雇用者報酬増を上回る一方で、社会保障をはじめとする将来不安が一向に解消されないため、収入の増加分の大部分が貯蓄に回る等、極めて防衛的な行動となっている。

働く者の将来不安を払拭し、「経済の自律的成長」「社会の持続性」を実現するためには「人への投資」が不可欠であり、分配構造の転換につながり得る賃上げが必要である。すべての企業労使は日本経済の一端を担うという社会的役割と責任を強く意識し、すべての働く者の労働諸条件の改善につなげていかなければならない。

したがって、2020春季生活闘争においては、社会全体に賃上げを促す観点とそれぞれの産業全体の「底上げ」「底支え」「格差是正」に寄与する取り組みを強化する観点から、月例賃金にこだわり、賃上げの流れを継続・定着させる。加えて、中小組合や有期・短時間・契約等で働く者の賃金の「格差是正」の取り組みの実効性を高めるためにも、働きの価値に見合った賃金の絶対額にこだわり、名目賃金の最低到達水準の確保と目標水準への到達、すなわち「賃金水準の追求」に取り組んでいく。

なお、今次闘争より、広く社会全体に賃上げを促す観点と企業内で働くすべての労働者のセーフティネットを強化していく観点、加えて中小組合や有期・短時間・契約等で働く者の賃金を「働きの価値に見合った水準」へと引き上げていく観点から、「底上げ」「底支え」「格差是正」を次のとおり再定義する。

	目的	要求の考え方
底上げ	産業相場や地域相場を引き上げていく	定昇相当分+引き上げ率 (→地域別最低賃金に波及)
格差是正	企業規模間、雇用形態間、男女間の格差を是正する	・社会横断的な水準を額で示し、その水準への到達をめざす ・男女間については、職場実態を把握し、改善に努める
底支え	産業相場を下支えする	企業内最低賃金協定の締結、水準の引き上げ (→特定(産業別)最低賃金に波及)

2. 具体的な要求項目

(1) 賃上げ要求

①月例賃金

月例賃金にこだわり、賃金の引き上げをめざす。要求の組み立ては、定期昇給相当分(賃金カーブ維持相当分)を確保した上で、名目賃金の到達目標の実現と最低到達水準の確保、すなわち「賃金水準の追求」にこだわる内容とする。

同時に、企業内で働くすべての労働者の生活の安心・安定と産業の公正基準を担保するため、企業内最低賃金の協定化に取り組む。なお、取り組みにあたっては、企業内最低賃金協定が特定(産業別)最低賃金の金額改正に強く寄与することも踏まえる。

具体的な要求指標は、右上表のとおりとする。

<2020春季生活闘争における賃金要求指標パッケージ>

底上げ	社会全体に賃上げを促す観点とそれぞれの産業全体の「底上げ」「底支え」「格差是正」に寄与する取り組みを強化する観点から、2%程度とし、定期昇給分(定昇維持相当分)を含め4%程度とする。	
格差是正	目標水準	企業規模間格差
		雇用形態間格差
	最低到達水準	35歳：287,000円 30歳：256,000円
底支え	35歳：258,000円 30歳：235,000円 企業内最低賃金協定1,100円以上	企業内最低賃金協定1,100円以上
底支え	・企業内のすべての労働者を対象に協定を締結する。 ・締結水準は、生活を踏う観点と初職に就く際の観点を重視し、「時給1,100円以上」をめざす。	

- ②男女間賃金格差および生活関連手当支給基準の是正
- ③初任給について社会水準を確保する。
18歳高卒初任給の参考目標値……174,600円
- ④一時金について、月例賃金の引き上げにこだわりつつ、年収確保の観点も含め水準の向上・確保をはかる。

(2) その他の取り組み

- ①長時間労働の是正と均等待遇の実現
- ②人材育成と教育訓練の充実
- ③中小企業、パート・有期・派遣で働く労働者等の退職給付制度の整備
- ④ワークルールの取り組み
- ⑤改正女性活躍推進法および男女雇用機会均等法の周知徹底と点検活動
- ⑥あらゆるハラスメント対策と差別禁止の取り組み
- ⑦育児や介護と仕事の両立に向けた環境整備
- ⑧次世代育成支援対策推進法にもとづく取り組みの推進

3. 闘争体制と日程

- 1) 中央闘争委員会および戦術委員会の設置
- 2) 要求提出 → 原則として2月末までに要求を行う。
- 3) ヤマ場への対応 → 年度内に決着させることを基本とする。
3/9～3/13に決着させる「第1先行組合」と、3/16～3/20の決着をめざす「第2先行組合」を設定し、相場形成と波及をはかる。



連合結成30周年事業として
【ゆにふあん】という、支え合い・助け合い運動推進プロジェクトがスタートしました!

ゆにふあんとは?
動画公開中!



〒400-0858 山梨県甲府市相生2丁目7-17 労農福祉センター内
TEL.055-228-0050 FAX.055-222-1189

URL: <http://yamanashi.jtuc-rengo.jp/>
E-mail: info@yamanashi.jtuc-rengo.jp

発行人 窪田 清

Facebook
いいねしてね!

連合本部フェイスブック



連合山梨ホームページ



県産材利用促進



もりかみくん



講演する加藤副事務局長

官公部門連絡会

11
6
WED

人事院勧告の取扱いと 定年延長制度の学習会を開催

11月6日(水)18時30分から、山梨県立図書館多目的ホールにて開催しました。学習会では、81人の組合員が参加し、公務労共サービス労働組合・副事務局長の加藤達夫氏による「人事院勧告の取扱いと定年延長制度について」と題した講演会を行いました。

加藤氏は講演の中で、定年延長制度に触れ、「公務員の定年引き上げについては、昨年の意見の申出以降進んでいないのが現状です。しかし、総務省の検討状況から踏まえるに、法案の提出期限

については、次期通常国会がタイムリミットであることは確かであるため、今後も公務労協として通常国会へ向けて対応を続けていく」と述べられました。



団結ガンパロー

11
12
TUE

公民較差の完全解消と 働きやすい職場環境の実現を!!

11月12日(火)18時30分から、甲府駅北口よっちゃばれ広場において450人の組合員が参加し、対県共闘会議・連合山梨官公部門・自治労山梨県本部合同総決起集会が開催されました。

集会冒頭、小串対県共闘会議議長(山教組)を始め、田中副議長(自治労山梨県本部)と、木内連合山梨副会長から挨拶があり、参加者の士

気が高まりました。

また、『全ての県内勤労者の生活を守るため、対県共闘会議・自治労山梨県本部・連合山梨に結集し、要求実現のため全力でたたかっていく』という集会決議が承認されました。

さらに、集会スローガンである、『人員を増やし、ゆとりある職場環境の実現を』、『60歳以降も安心して働ける雇用制度の実現を』など5項目について力強く訴えました。

集会の最後には、『団結ガンパロー』が行われ、参加者全員で団結していくことを確認し、盛大に締めくくられました。



挨拶する木内連合山梨副会長

官公部門連絡会 事務局長 土橋 大輔

11
7
THU

交通・運輸部門連絡会

進化する交通運輸業界、充実した工場見学

交通・運輸部門連絡会は11月7日(木)、参加者21名で、第5回研修会を開催し、2か所の施設を見学させていただきました。

最初に小田急電鉄株式会社 海老名電車基地の見学を行いました。冒頭、会社から歓迎のご挨拶をいただき、基地についての概要説明を受けました。その後、点検中の車両や洗車を行っているところや、普段は見られない保存車両を見させていただくことが出来ました。また、敷地内に「ロマンスカーミュージアム」の建設も行っており、2021年にオープン予定とのことです。

次に、ヤマト運輸厚木ゲートウェイ施設の見学を行いました。まず概要の説明をいただき、厚木ゲートウェイは西日本から運ばれてくる中継場所として、1日30万個の荷物を処理しているとの事でした。見学の中では、フルトレーラーの体験乗車をさせていただき、その大きさに参加者からも驚きの声が上がっていました。

今回の視察研修では、進化する交通運輸業界を学ぶ大変良い機会となりました。



交通運輸部門連絡会 議長 宮下 竜三

地域協議会の活動

11月8日(FRI) **東部地協 第15回定期総会を開催 地域に顔の見える運動を!**

11月8日(金)に連合山梨東部地協第15回総会が、富士急労働組合会館において、代議員・地協・地区協役員36名の参加で開催されました。連合山梨窪田事務局長を初め、宮沢参議院議員、卯月県議会議員、立憲民主党山梨県連合 市来副代表など、関連団体の方々より多数のご臨席とメッセージをいただきました。

総会では、早川前事務局長より2019年度経過報告・決算報告ならびに、2020年度活動方針・予算などが原案通り承認され、新任役員2名を含む体制での新年度がスタートしました。

東部地協の重点活動としては「活動強化の認識共有」、「組合員相互の連携強化活動」、「地域の特色を活かした顔の見える活動」を念頭に、『(1) 1000万連合実現プランに基づく組織拡大 (2) 平和活動の推進 (3) 労働者福祉の取り組み (4) 各種選挙の取り組み (5) 退職者の抛り所機能となる取り組み』を柱として、活動を進めていく事としました。

総会の最後は、棚本新議長より運動方針に対しての決意が込められた挨拶と、「団結ガンパロウ!」で締めくくられました。

連合山梨東部地協 事務局長 前田 宝



11月9日(SAT) **中部地協 大根掘り あっ!という間に3000本!!**

連合山梨中部地域協議会大根掘りが、11月9日(土)秋晴れの中、北杜市明野町浅尾地内で開催されました。有泉議長の開会挨拶と来賓の古屋県議から挨拶があり、その後事務局の合図

で総勢148名の参加者が一斉に大根畑に入り、小さい子どもから大人まで家族で楽しく大根掘りが行われました。そして開始から僅か30分で3,000本の大根が引き抜かれ、イベントは大盛況のうちに終了しました。

役員の皆様には受付・駐車場係をして頂き本当にありがとうございました。



連合山梨中部地協 事務局長 弘瀬 誠



11月14日(THU) **やまなし労福協**

第5回ボウリング大会

11月14日(木)中央市の大丸パークレーンにおいて、「山梨県労福協 第5回ボウリング大会」を行いました。今回はAグループ(マイボール・マイシューズ)4チームと、Bグループ(ハウスボール)11チームの総勢60名の方に参加頂き、思い思いの投球でボウリングのピンと共に日頃のストレスを吹き飛ばしていました。

会場は大いに盛り上がり、参加された皆様の良い交流の場になりました。

Aグループ(マイボール・マイシューズ)			
個人戦	個人戦	団体戦	団体戦
優勝 金子 陽子(日立AMS) 415P	優勝 甲府明電舎労組	準優勝 依田 優希(甲府明電舎) 394P	準優勝 日立AMS労組
三位 七沢 憲一(甲府市職) 387P	三位 パナソニックPA労組		

Bグループ(ハウスボール)			
個人戦	個人戦	団体戦	団体戦
優勝 船渡 義昭(連合山梨) 347P	優勝 新旭電子工業山梨労組	準優勝 渡邊 恵美(住友電工) 336P	準優勝 住友電工労組
三位 米山 哲矢(電通システム) 333P	三位 労福協事務局		

山梨県労働者福祉協会 事務局長 清水 澄男

11
17~21
SUN THU

第12次四川省総工会友好交流訪中団

交流が新たな段階に発展することを願い

1990年1月26日、連合山梨が結成された時の大会で「連合本部の『海外労組との交流に関する指針』に基づき検討を進める」という趣旨の運動方針が確認されました。翌1991年10月の大会では、「県省友好都市である四川省の労組との交流について検討を進める」という運動方針が確認され、1994年6月には、初めて「四川省総工会友好交流訪日団」を迎えました。そこから連合山梨と四川省総工会との交流が始まり、今年が交流25周年にあたる年になります。一昨年度に両者で結ばれた「2019年成都にて友好交流シンポジウム開催に関する覚書」に基づき、この度、連合山梨萩原会長をはじめ、5名で「第12次連合山梨友好交流訪中団」として四川省成都市を訪れました。



4泊5日の行程でしたが、実質3日間の限られた日程の中で、「四川省総工会」「成都市総工会」などの労組関連団体との交流以外にも、「四川一汽豊田自動車」の工場・労組や、「紫坪鋪開発有限公司」で開発・運営されているダムなどを訪問し、座談会による交流・意見交換が行われました。また、「四川省大地震倒壊遺跡」を訪れ、地震殉職者への献花を行うとともに、主な史跡見学も行いました。

四川省の人口は約8300万人ですが、工会の会員（労働組合の組合員）は1970万人（うち女性は754万人）おり、加入率は97%を誇るとのことです。また、女性活躍推進のために「ベビールーム」と呼ばれる公の施設が約800カ所（人口比で考えると山梨県に8カ所）あることも分かりました。

そういった労働環境の中で、今、四川省では変化が起きています。特に、成都市の中心部から少し離れた農村部で人々の生活水準が大幅に上がっているとのことでした。また、科学技術の面では、IT、ガスタービン、ドローンの技術も世界有数のものとなってきており、インフラの整備も進んでいるようです。道路、鉄道、水路の建設にも力を入れ、四川省は中国全土、東西南北の交通の重点と位置づけられるようです。確かに成都空港は、地方の空港としては広く大きかったと思います。

もちろん、根底に流れている思想や、政治と労働組合との関係は、日本とは全く異なりますので単純比較はできませんが、家庭の経済格差が教育格差を生んでいる日本の現状を話したところ、成都市の現状と課題においても、その事を深刻な問題として捉えていることが分かり、「働く者を守らなければいけない」「教育を大切にしなければいけない」という思いは全く同じでした。特に、日本には「教育は未来への先行投資」という言葉があると紹介したところ、「正にそのとおりです。深く感銘を受けました」と、気持ちを通じ合いました。



中国では、親しい間柄の方や大切な方を「古い友人」と呼びます。萩原会長のことを「古い友人」と呼び、「熱烈歓迎」で迎えてくれたことなどから、連合山梨と四川省総工会との交流の歴史の深さや、これまで歴代の方々から築いてきた信頼関係を肌で感じる事ができました。

今回の交流は、2021年に四川省総工会の皆さんを日本にお迎えしての交流になります。その時まで、今回の交流で情報交換・意見交換された内容から、一歩でも半歩でも前進した様子が報告できるように連合運動をすすめていかなければなりません。

結びに、今回、このような貴重な経験をさせていただいたことに心より感謝申し上げるとともに、25周年を機に、両会がより一層信頼関係を強く結び、この交流が新たな段階に発展し国際交流のモデルとなれることを願って、報告とさせていただきます。

連合山梨訪中団 秘書長 小串 吾郎

第12次四川省友好交流訪中団

連合山梨会長	萩原雄二
山教組執行委員長	小串吾郎
NTT労組山梨支部長	坪井茂
富士急行労組執行委員長	宮下竜三
オギユニオン中央執行書記長	廣瀬くみ子

第91回メーデー・ポスター図案募集

締切り 2020年1月10日(金) 必着

〈入選〉

最優秀賞1点(10万円)

優秀賞2点(各3万円)

最優秀賞は第91回メーデーポスター図案に使用

応募方法

1. 図案イメージ

- ①すべての働く仲間が結集し、「働くことを軸とする安心社会」を実現する。
- ②支え合い、助け合いを基本とした社会のうねりを呼び起こす運動を推進する。
- ③「誰一人取り残されることのない」社会を実現する。
- ④NGO・NPO等の諸団体とのつながりや共感を深める。
- ⑤被災地の復興支援と、その教訓を風化させない取り組みの継続・強化をはかる。

2. 対象

連合組合員とその家族および退職者

3. 用紙

B4サイズ・タテ、画用紙またはケント紙(応募は1人・1点に限る)

4. 記載事項

用紙の裏側に氏名、自宅住所・電話番号、所属労働組合・電話番号、構成組織名または、地方連合会名を記入のこと。記載もれがないようご注意ください。

5. 送り先

各構成組織・地方連合会(郵送または宅配便)

注意事項:①応募作品は返却せず、著作権は第91回メーデー中央実行委員会が所有する。②著作権上の問題が発生する恐れのあるデータは使用しない。③写真についてもオリジナルのものを使用する。④ポスター・リーフレット作成にあたり、オリジナルを編集する可能性がある。

第91回メーデー中央実行委員会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合連帯活動局気付
TEL 03-5295-0513 E-mail: rentai@sv.rengo-net.or.jp